

科目名	化学基礎		学年	類型・コース	単位数
			1 年	全員履修・普通	2 単位
学習の目 標	日常生活や社会との関連を図りながら、化学や化学現象への関心を高め、科学的に探究する技能と態度を養う。主体的に化学現象に関する観察、実験などを行い、科学的に探究する態度を養う。				
教科書 副教材	主たる教材：高校化学基礎（実教出版） 副教材：なし				
評 価	評 価 法	①定期考査(各学期 1～2 回) ②小テスト ③ノート ④授業反応 ⑤実験態度 ⑥実験操作 ⑦実験レポート			
	評 価 観 点 の 趣 旨	a	知識・技能	日常生活や社会との関連を図りながら、化学や化学現象に関する基本的な概念や原理・法則の理解を図る。	
		b	思考・判断・表現	化学や化学現象を科学的に探究するために、見通しをもって実験や観察を行い、一連の学習を自分のものにする。	
		c	主体的に学習に取り組む態度	様々な化学に関する事象に対して主体的に関わり、気付きから課題を解決しようとする態度を養う。	
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評点（1～10 の 10 段階）にまとめます。学年末には観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評点（1～5 の 5 段階）にまとめます。				

期	月	時数	学習項目・単元	学習内容	評価方法		
					a	b	c
1 学期	4 月	6	課題を通して化学と人間生活の関わりを知る。	家庭学習を通して私たちの生活と化学との係りを理解する。	定期考査 小テスト 実験操作	定期考査 実験レポート	ノート 授業反応 授業態度
	5 月	6	課題を通して物質の構成元素を学ぶ。	家庭学習を通じて物質の成分を知る。			
	6 月	8	物質の成分と構成元素について 1	物質の成分を知り、分離できる			
	7 月	6	物質の成分と構成元素について 2	物質の構成元素を知り、三態を理解する			
夏休み							
2 学期	9 月	8	化学結合について	化学結合と結晶についてまとめ、説明することができる。	定期考査 小テスト 実験操作	定期考査 実験レポート	ノート 授業反応 授業態度
	10 月	6	原子量・分子量・物質質量について	原子量・分子量・物質質量について理解し、基本的な計算ができる			
	11 月	8	化学変化の量的関係について	化学変化の量的関係について理解し、基本的な計算ができる			
	12 月	6	酸と塩基について 1	酸と塩基の定義、水素イオン濃度と pH について理解できる			
冬休み							
3 学期	1 月	6	酸と塩基について 2	中和反応と塩の生成、中和滴定について理解できる	定期考査 小テスト 実験操作	定期考査 実験レポート	ノート 授業反応 授業態度
	2 月	6	酸化と還元反応について	酸化と還元反応の定義について理解できる			
	3 月	4	酸化還元反応の利用について	酸化還元反応の利用について理解できる			

担当者からのメッセージ（学習方法など）
毎時間の授業を大切にし、テスト前は演習問題を繰り返し行うとよい。